

# まだまだ挑戦!

品川 昇さん(本郷台第1)



5月23日に開催された「栃木マスターズ陸上競技記録会」で、400m・やり投げ・円盤投げの3種目に出場し、45歳から49歳までのクラスで400mと円盤投げで1位、やり投げが2位という好成績をあげた品川昇さんに話を伺いました。

この大会は、10月に富山県で開催される「全国スポーツレクリエーション祭」の選考会も兼ねて行われ、品川さんは400mとやり投げで代表に選ばれました。

品川さんの陸上の経歴を聞いたところ、意外にも小学生の頃は野球少年だったそうです。中学生から陸上を始めたそうです。「野球を続けたかったのですが、通った中学校に野球

## 今月の輝ける星



ホノルルマラソンでゴールする品川さん

普段の練習は、仕事の日仕事場までの約10kmを走ったり、休みの日には公園等で練習したりとほぼ毎日続けているそうです。「来年から10種競技に挑戦してみようと思っっているんです。すべての競技に出場するだけでも大変ですが、ファールをせずに全部記録を残すことが今の目標です。」と、新しいことに挑戦していく気持ちを持ってもらいました。

部が無く、走ることも得意だったので陸上部に入部したのです。」と話してくれました。

その後は、中・長距離競技を中心に陸上競技を続け、フルマラソン(42.195km)も何度か走った経験があるそうです。中でもハワイで開催される「ホノルルマラソン」に2回出場し、3時間を切る好成績を残しました。

## 広報紙で見る上三川町50年

### 広報紙が毎月発行に!

現在は情報化が進み、知りたい情報をテレビやインターネット等で瞬時に得られるようになってきました。町の情報誌としての役割を果たす広報紙は、一昔前まで年に2~3回不定期で発行するものでした。しかし、現在のように情報のスピードが求められる社会にあわせ、広報紙が毎月1回発行するようになったのは、昭和43年5月のことです。

このころの上三川町は大きく変わろうとしている時代でもありました。昭和43年には、日産自動車(株)栃木工場の一部が起工され、それまで農業の町だった上三川町に工業が加わり、町の人口増加、経済成長等大きく様変わりしていきました。

ちなみに、昭和43年5月号に掲載された昭



表紙のトラックの写真を見ても歴史を感じます

和43年度の町の予算は2億2600万円(一般会計)、平成16年度は98億5100万円です。お金の価値が変わったことありますが、約44倍になりました。また、人口は17,062人から30,856人に増えました。